

セキスイハイム presents

ドミンゴ・インドヤン指揮 ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団 ピアノ:辻井伸行

ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団(RLPO)は、ビートルズを生んだ音楽の聖地リヴァプールに1840年に創設されたイギリスでもっとも古い歴史を誇る名門オーケストラのひとつで、イギリスを代表するオーケストラです。2015年、創立175年にして待望の初来日を果たし、唸る弦楽器の熱いサウンドとブリティッシュブラスの温かくも輝かしいサウンドが高度に融合した抜群のアンサンブル力、個々の高い技術力で満員の聴衆を震えさせる熱演を繰り広げました。2006年から首席指揮者を務めRLPOを世界的オーケストラのひとつに育て上げたヴァシリー・ペトレンコの後任として、2021年のシーズンより世界的に高い注目を集める南米ベネズエラの音楽教育システム「エル・システマ」育ちの指揮者ドミンゴ・インドヤンが首席指揮者に就任。すでに辻井伸行とはリヴァプールでの定期演奏会とロンドンでの「BBCプロムス」で満員の聴衆からスタンディングオベーションを受ける大成功を収めており、2024年5月、待望の来日ツアーが実現します。



辻井伸行(ピアノ)
Nobuyuki Tsujii, Piano

2009年「第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール」で日本人として初優勝して以来、国際的に活躍している。2011年、ニューヨーク、カーネギーホール主催のリサイタルで驚異的な大成功を収め、以後定期的に同ホールの主催公演に招聘されているほか、ロンドン、ウィーン、パリ、ミラノなど、世界の主要都市でのリサイタルやオーケストラとの共演はいずれも高い評価を受け、欧米の主要コンサートホールや主催者からの出演依頼が数多く寄せられている。また、著名な指揮者や世界的オーケストラからも高く評価されており、エロフスキ指揮ロンドン・フィル、ケント・ナガノ指揮ハンブルク・フィルなど、著名オーケストラの日本ツアーのソリストに数多く抜擢されているほか、欧米の一流オーケストラの定期公演にもたびたび招聘されている。2024年以降もニューヨーク、ロンドン、パリ、シドニーをはじめとする主要都市での公演や世界的オーケストラとの共演が数多く予定されており、日本を代表するピアニストとしてさらなる飛躍が期待されている。



ドミンゴ・インドヤン(指揮)
Domingo Hindoyan, Conductor

ベネズエラのカラカス生まれ。2021年9月、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者に就任。マックス・ブルッフ、サー・マルコム・サージェント、ヴァシリー・ペトレンコら著名な指揮者たちに名を連ねることとなった。ベネズエラの有名な音楽教育プログラムであるエル・システマのメンバーを経て、ヨーロッパへ渡りジュネーヴ高等音楽院で指揮を学んだ。2013年から2016年までベルリン・ドイツ国立歌劇場でダニエル・パレンボイムの第1アシスタントを務めた後、2019年から2022年まではポーランド国立放送響の首席客演指揮者として活躍。このほかメトロポリタン歌劇場、ウィーン国立歌劇場、パリ国立オペラ座、マリinsky劇場、フィルハーモニア管、ドレスデン・フィル、ザルツブルク・モーツァルテウム管、フランス国立放送フィル、新日本フィル、ベネズエラ・シモン・ボリバル響に客演するなど活躍の場を広げている。ロイヤル・リヴァプール・フィルとの首席指揮者契約を2028年8月まで延長した。



ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団
Royal Liverpool Philharmonic Orchestra

1840年創設、数々の受賞歴を誇る英国最古のオーケストラ。2021年9月にドミンゴ・インドヤンが首席指揮者に就任。リヴァプール最大の音楽団体として文化の中心的役割を担っており、本拠地であるリヴァプール・フィルハーモニーホールでは、毎シーズン60回以上のコンサートを行っている。さらに英国各地で演奏会を行う傍ら、アジア、ヨーロッパ、アメリカへのツアーも行っている。多くの作品を初演・委嘱しており、過去10年間で150以上の作品を披露している。BBCラジオ3とクラシックFMでは定期的に演奏が放送され、辻井伸行との共演を含め、medici.tvのいくつかの放送にも出演している。録音も精力的に行っており、最近ではOnyx Classicsレーベルからイタリア・オペラの前奏曲&間奏曲集『ヴェリズモ』、ルーセル、ドビュッシー、デュカスのフランス作品を録音したCD(すべてインドヤン指揮)などをリリース。桂冠指揮者のヴァシリー・ペトレンコの指揮では、ショスタコーヴィチ、ラフマニノフ、チャイコフスキーの交響曲全集などを録音している。